



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/75名 出席/43名 出席率/57.33%

メークアップ/32名 修正/75名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



米山月間ということで、先週に引き続き米山奨学生にスピーチをお願いしました。2018年度の米山奨学生は852人、本日のお見えの蔡騰輝さんの母国台湾からは35人、先週の米山奨学生ウォォティチュ・ハーさんの母国ベトナムからは126人、先月国際旅行で訪問したモンゴルからは32人の奨学生を受け入れております。先週私宛にメッセージが入り国際旅行で交友を深めたモンゴル学友会会長オイドブ・バトゲレルさんの来日が決まり、10月24日福島南ロータリークラブ例会にメークアップ頂けることになりました。10月24日は「ロータリー・デー」となっておりますが、オイドブ・バトゲレルさんにスピーチをお願いする予定です。オイドブ・バトゲレルさんのプロフィールは先日配布しました豆辞典に詳しく掲載しておりますので是非ご一読ください。

折角の機会ですので、10月24日例会終了後、オイドブ・バトゲレルさんを囲んで懇談会を予定しております。お茶を飲みながら米山奨学金やモンゴル米山学友会について歓談したいと思いますので時間の許す方はお残り下さい。米山を身近に感じるいい機会ではないでしょうか。本年度の米山奨学会の募金活動は鈴木洋子委員長をはじめ委員の皆様のご努力で順調に推移しております。ありがとうございます。

ロータリー財団ではポリオ基金へ一人当たり50ドル目標に向け頑張っております。財団へのご協力もよろしくお願い致します。

おめでとうございます！

誕生祝 親睦活動委員会 伊藤委員長



10月12日 佐藤 誠 会員 趣味：剣道 (7段)
10月7日 松崎 弘昭 会員 趣味：読書
10月26日 丹治 智幸 会員 趣味：散歩

新社屋落成祝 贈呈 渡邊 正義 会員



福島市方木田に、渡邊会員の会社が新社屋の落成をされ、吉田会長から御祝の贈呈がありました。

米山記念奨学生ゲストスピーチ 蔡騰輝(サイ トウキ) 様

世話クラブ：福島西RC

僕は台湾から来た留学生サイ トウキと申します。先日の米山梅吉研修旅行は久米会長さんが参加出来なかったのが残念ですが、多くのロータリアンと他クラブの奨学生の皆さんのおかげで楽しい思い出がいっぱい素晴らしい旅になりました。今回の旅行で一番印象に残っているのは、初日の夜の二次会でなんと僕の人生で初めてのスナックに行きました。あそこは正に国境を越えた友情の場であることがわかりました。みんな歌ったり、踊ったり、酒飲んだりして、国と国、民族と民族としてではな



く、人と人として向き合い、素直に接することか出来る場所でした。それに、米山梅吉さんの生涯と奉仕精神は深く勉強になり、本当にすごい人だと思いました。米山奨学生としての使命と役割を改めて理解し、将来の努力する方向性も明確になりました。卒業後も日本と台湾との国際の架け橋として、活躍できる人間を目指し、努力をしていきたいと考えています。今年、米山奨学生に選ばれ、福島西RCにお世話になってから半年経ちましたが、米山奨学生として色々な行事に参加し、ロータリアンの方々や、多国籍の学友及び奨学生に沢山出会い、間違いなくこの1年間は私の人生にとって大きな財産になるでしょう。

奨学金のお陰で勉強と自分のやりたいことが出来ました。自分の卒論を書くためにバイトの回数を減らして勉強しなければならませんでした。普段は勉強だけではなく、実験、論文紹介、輪読の発表などもあります。時々午後から翌日の朝まで実験をやったこともあります。ここで奨学金を貰える事が実にありがたいと感じています。それだけではありません。毎月のロータリーの友を讀んで、ロータリアンは世界の親睦、理解、平和のために素晴らしい奉仕活動をしていることがわかりました。

四つのテストの中で一番印象強いのが『みんなのためになるかどうか』です。私は今、大学で中国学友会の会計をやっています。来年の4月から会長になります。学友会は来日したばかりの留学生のサポートをして、問題無く早めに日本での生活に慣れ、健全な海外生活を送るようにする事が我らの仕事です。そして定期的にイベントを企画して、先輩方や同級生との親睦を深めるのが学友会の役目です。みんなの力になるのは本当に嬉しいと思います。

人間は必ずみんなで助け合って生きていきます。ロータリアン達は平和のために、私たちに育てているので、私たちは平和のために生きていきたいと思います。これが平和な社会の硬い基盤となるの信じています。

将来、自分もロータリアンになりたい気持ちが強くなりました。私はいつも仏教の神様のある言葉を信じています。『誰に出会っても、彼はあなたの人生に現れるべき人であり、絶対に偶然ではありません』です。私がどこに行っても、そこは私が行くべきところであり、経験すべきことを経験し、出会うべき人に出会うというの信じています。これからも、ありかとうという気持ちを持ちながら、ロータリー米山の理念をより多くの人々に伝えたいと思います。



福島西RC会長

米山記念奨学生カウンセラーゲストスピーチ 久米 允彦 様



今日は米山奨学生の蔡君をご招待頂き誠に有難う御座います。米山記念奨学会奨学生との接し方について感じたままをお話させて頂きます。遠く祖国を離れて向上心に燃え来日なさっている中で、何かと不便なことや寂しい思いもなされているかもしれない状況を前提として、オリエンティングでレクチャーを受けますが、自己紹介をさせられる彼らからは、大きな緊張が感じられました。日々健康で過ごされることを望み、在日中に大きな収穫を得られんことを切に望んでいます。そして、日本の学生のみならず多くの青少年との友情の輪を広めて頂きたいと思えます。何年か経った後に留学中の良い経験を思い出して頂き、後進に日本に送り出して頂ければと思います。

奨学生諸君の親代わりという訳ではありませんが、出身国の慣習、宗教的な約束等がある程度レクチャーされます。その中でとりわけ大切なことがあります。

まず第一に、ご本人の健康状態に留意すること。彼らは国民健康保険には加入していますが、いざという時はカウンセラーご自身の掛かり付けのお医者様を頼ることでしょうか。昨年の奨学生が地区大会参加の際に足首を捻挫しました。当時の幹事さんが応急処置をして、事無きを得ましたが、カウンセラーの心配もいかほどだったでしょう。このような不測の事態にクラブ全体が心配して下さる体制が肝要と思えます。二番目に、例会に参加して頂きましたら、必ずお声掛けをして握手をして下さい。参加して頂く都度、「君をクラブ全体が応援しているよ」というシグナルを送って頂きたいと思えます。そして例会に慣れてこれたらテーブルのお席を固定せず、各テーブルにお座り頂くようにして頂いて下さい。

三番目には、日本の慣習、常識でお話や物事を進めないで下さい。特に難しいのは食生活習慣でしょうか。皆さんは、ある程度出身国で予習をして来ているので、神経質になる必要はありませんが、日本の習慣、常識を押し付けるようなことは禁物です。最後に、奨学生の方の目線で接して下さい。奨学生とロータリアンではなく、日本のご両親であるというくらいの目線で接して下さい。是々非々は言うべき時は言うくらいの毅然としたある場面では必要でしょう。



<p>— 今後のプログラム —</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月31日(水) ガバナー公式訪問 第3回ガバナー補佐訪問 11月7日(水) 会員スピーチ 安齋常克会員 11月14日(水) ゲストスピーチ 大橋 美由希さん(福島中央 RAC) 	<p>— 10月24日(水)の例会プログラム —</p> <ol style="list-style-type: none"> 開会点鐘 ロータリーソング 四つのテスト唱和 来訪者紹介と会長挨拶 ロータリー財団委員長挨拶 スマイリングBOX報告 米山功労者表彰 地区ロータリー財団委員長 ポリオ委員会委員スピーチ ゲストスピーチ 来訪者紹介と会長挨拶 オイドブ・バトゲレル様 (モンゴル米山学友会会長) 各委員会報告 閉会点鐘
<p>— 地区情報・第一分区分区・関連情報 —</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月28日(日) 大声杯 11月9日(金) 防火パレード 11月11日(日) ロータリー財団補助金管理セミナー 	